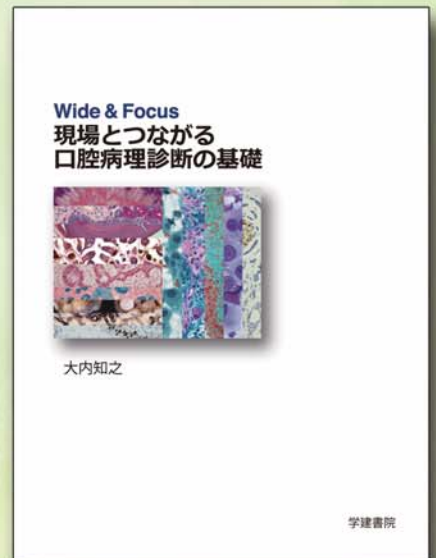


Wide & Focus 現場とつながる 口腔病理診断の基礎

執筆 大内知之 (口腔病理専門医)

A4変型判 171頁 カラー
定価5,460円(本体5,200円+税) ISBN978-4-7624-0677-5



臨床の現場で遭遇する頻度の高い疾患を
全体像(wide)から**高倍像(focus)**まで徹底解説。

- 多くの症例写真と、多角的な解説
- ▶ 病理アレルギーを克服!!
 - ▶ 標本作製法, 各種染色法
 - ▶ 病理検査申込法もこれでOK

基礎編

(3) 擦過細胞診のポイント

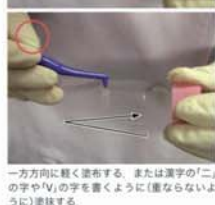


ソフトタッチで十分に細胞を採取できる。同一方向に数回軽く擦過するだけで十分である。

生検と異なり、明らかに目視できる検体が採取できないため、初心者は、つい過剰に擦過して、組織を剥離してしまうことがある。プレパラートにくもりが生じる程度で、十分に採取されている。



プレパラートに塗布する際ソフトタッチで十分である。何度もこすり付けるような操作を行うと、せっかく採取した細胞が壊滅してしまう。

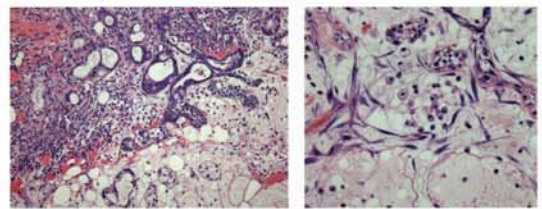


一方方向に軽く塗布する。または漢字の「二」の字や「V」の字を書くように(重ならないように)塗抹する。

・パバニコロウ染色: 塗布後すみやかに(2秒以内)に95%エタノールに浸漬する。
・ギムザ染色: 塗布後、ドライヤー、エアシリンジなどの冷風で乾燥させる(乾燥後メタノール固定)。

5 各種染色法について

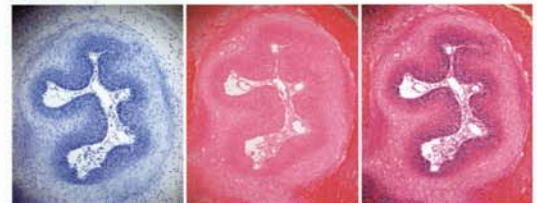
1 ヘマトキシリン・エオジン(HE)染色



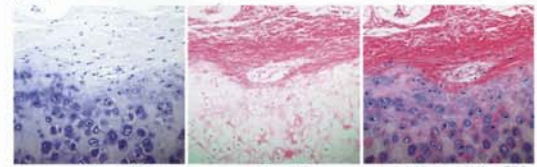
正常の唾液腺貯留部位と、腺体の消失、導管の拡張が目立つ小唾液腺。高倍拡大中に多数のマクロファージや線維芽細胞を認む。粘液肉芽腫。

通常、病理組織学的に形態観察を行うには、HE 標本染色を用いる。HE 染色は、塩基性のヘマトキシリンと酸性のエオジンの2種類の染色液を用いた二重染色法である。

乳腺腫



軟骨組織



a: ヘマトキシリン単染色

b: エオジン単染色

c: ヘマトキシリン・エオジン二重染色

ヘマトキシリン、エオジンそれぞれ単染色しただけでは顕微鏡観察のための十分な染色状態を得ることはできない。二重染色を行うことで、はじめて有効な染色法となる。

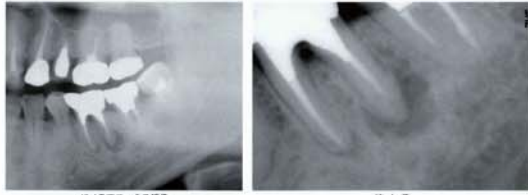
6

歯根膿胞(慢性肉芽性根尖性歯周炎)

(radicular cyst (chronic granulomatous apical periodontitis))

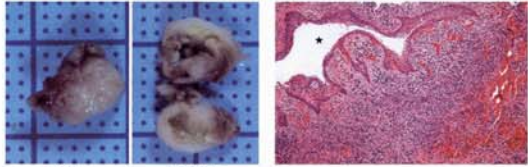
症例: 30歳代, 女性

経過: 下顎左側大臼歯部の自発痛を主訴に来院。エックス線像で第一大臼歯遠心根尖部に境界明瞭な透過像を認める。感染根管治療を開始したが、症状が改善しないため遠心根へミセクソンと、歯髄窩から病変を掻爬摘出。歯髄嚢との癒着はなく、剝離は容易であった。



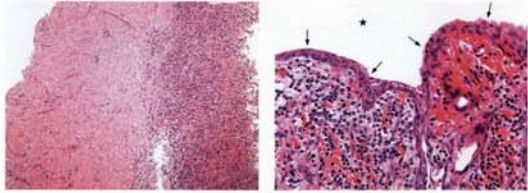
パノラマエックス線像

第一大臼



膿出組織

膿出組織断面

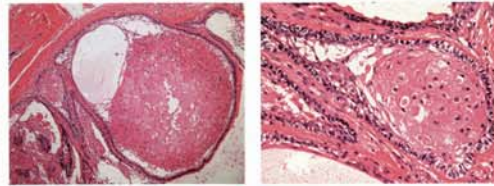


膿胞(状)構造を呈する膿出組織(★膿胞腔)は、厚い線維性結合組織が主体で、内腔側は炎症細胞浸潤の目立つ肉芽組織だが、不規則な上皮脚延長を伴った重層扁平上皮の裏装部(矢印)も認められる。

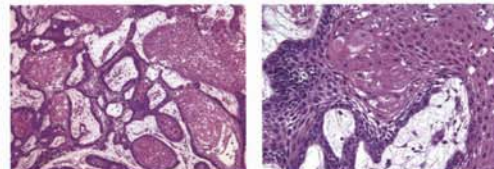
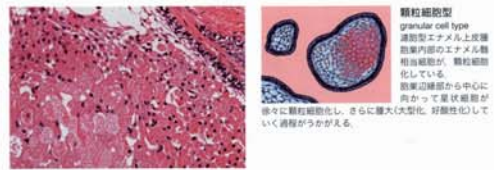
48

エナメル上皮腫

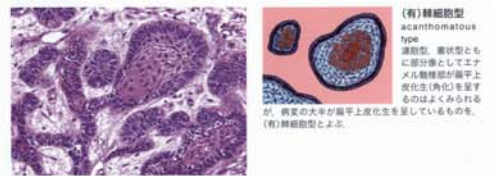
5



顆粒細胞型
granular cell type
濾胞型エナメル上皮腫
歯槽内部のエナメル顆
粒上皮細胞が、顆粒細胞
化している。
歯槽口縁部から中心に
向かって巣状細胞が
徐々に顆粒細胞化し、さらに巨大(大型化、好酸性化)して
いく過程がうかがえる。



(有)棘細胞型
acanthomatous
type
濾胞型、巣状型とも
に部分像としてエナ
メル顆粒型が扁平上
皮化生(角化)を呈す
るのはいくつかみられ
るが、病変の大半が扁平上皮化生を呈しているものを、
(有)棘細胞型とよぶ。



117

主要目次

基礎編

- 1 治療の流れと病理検査の関連
- 2 各種病理検査の特徴
- 3 標本作製の実際(標本作製の流れと所要時間)
- 4 脱水, パラフィン包埋, 薄切
- 5 染色, 封入, その他
- 4 細胞診
 - 1 細胞診と組織診の違い
 - 2 細胞採取法
 - 3 ギムザ染色とパバニコロウ染色
- 4 各種細胞診
- 5 各種染色法について
 - 1 ヘマトキシリン・エオジン(HE)染色
 - 2 特殊染色
 - 3 免疫組織化学染色
- 6 標本観察のポイント(注意点)

症例編

- 1 歯髓疾患および歯周組織疾患
 - 1 歯髓充血および高度の石灰変性
 - 2 初期急性歯髓炎(急性漿液性歯髓炎の疑い)
 - 3 急性化膿性歯髓炎(+辺縁性歯周炎)
 - 4 歯髓壊死(上行性歯髓炎)
 - 5 歯根肉芽腫(慢性肉芽性根尖性歯周炎)
 - 6 歯根膿胞(慢性肉芽性根尖性歯周炎)
 - 7 残留膿胞(残存膿胞)
- 2 顎口腔領域の膿胞
 - 1 含菌性膿胞(濾胞性歯膿胞)
 - 2 リンパ上皮性膿胞
 - 3 類表皮膿胞
 - 4 腺性歯原性膿胞
 - 5 鼻齒槽膿胞(鼻唇膿胞, 鼻前庭膿胞)
- 3 粘膜疾患
 - 1 過錯角化症(白板症)
 - 2 軽度の上皮異型を伴った過錯角化症(白板症)
 - 3 初期浸潤癌が疑われた症例
 - 4 高度上皮異形成~上皮内癌, 初期浸潤癌 (扁平上皮癌)相当
 - 5 扁平上皮癌
 - 6 乳頭腫(扁平上皮乳頭腫)
 - 7 乳頭腫を疑う病変
 - 8 線維性ポリープなど(反応性の線維増生)
- 4 非歯原性腫瘍
 - 1 神経線維腫
 - 2 神経鞘腫
 - 3 脂肪腫
 - 4 リンパ管腫
 - 5 血管腫
 - 6 母斑細胞性母斑(色素性母斑)
 - 7 悪性黒色腫
- 5 歯原性腫瘍
 - 1 腺腫様歯原性腫瘍
 - 2 集合性歯牙腫
 - 3 エナメル上皮腫
 - 4 エナメル上皮線維腫
- 5 角化嚢胞性歯原性腫瘍(旧名: 歯原性角化嚢胞)
- 6 石灰化嚢胞性歯原性腫瘍(旧名: 石灰化歯原性嚢胞)
- 7 歯原性粘液腫/歯原性粘液線維腫
- 8 扁平上皮性歯原性腫瘍(旧名: 歯原性扁平上皮腫)
- 6 唾液腺疾患
 - 1 唾石症
 - 2 粘液嚢胞(粘液瘤)
 - 3 乳頭状嚢腺リンパ腫(Warthin腫瘍)
 - 4 多形(性)腺腫
 - 5 再発多形(性)腺腫, 多形(性)腺腫由来癌
 - 6 腺様嚢胞癌
 - 7 粘表皮癌
 - 8 腺房細胞癌
- 7 その他
 - 1 症例観察中に認められたさまざまな細胞付 病理検査申し込みについて